

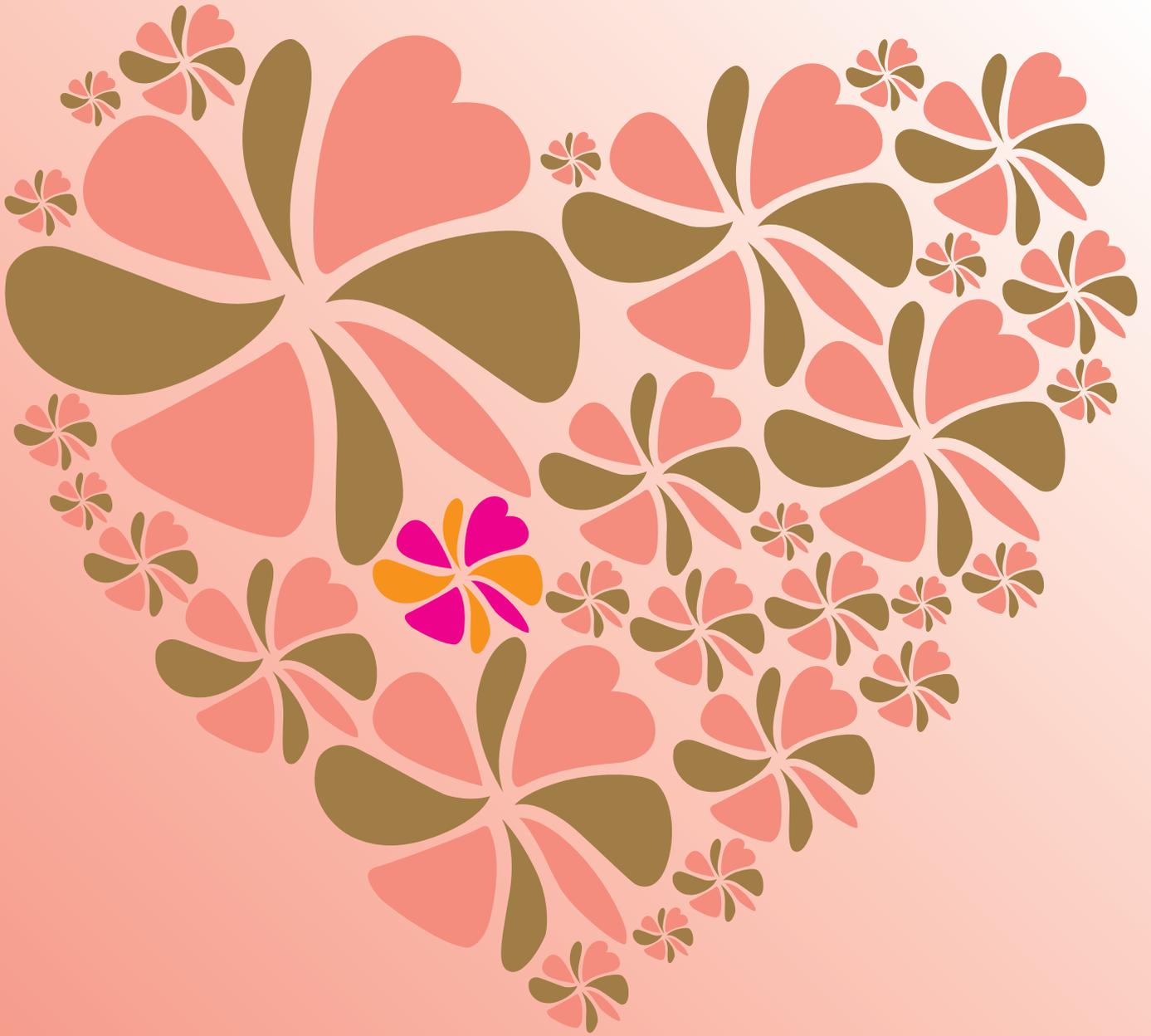
オーダーメイド医療の実現プログラム

バイオバンク通信

ご自由にお取りください

No.

20



ありがとうございました これからもよろしく申し上げます

B I O B A N K J A P A N

バイオバンク・ ジャパンの あゆみ

START!

2003年 4月

文部科学省の
委託事業として第1期開始
47疾患を対象に全国12医療機関
66病院とともに研究
基盤となるバイオバンク・
ジャパンの構築に着手

2015年 3月

臨床研究グループとの
連携を開始、新たに
組織バンクを構築

2015年 4月

日本医療研究開発機構 (AMED) の
委託事業に変更

2016年 8月

第1コホートのご登録者の
第4回追跡調査を実施

2005年 1月

匿名化した試料・情報を
国内の研究機関や
企業に配布する
取り組みを開始

2008年 2月

試料・情報収集を終了
201,805名の
ご協力をいただき、
「第1コホート」と命名

2008年 3月

第1期終了

2008年 4月

第2期開始

2013年 7月

第1コホートのご登録者の
第2回追跡調査を実施

2014年 7月

第1コホートのための
ご登録者の
第3回追跡調査を実施

2017年 8月

試料・情報収集を終了
約66,000人の
ご協力をいただき、
「第2コホート」と命名

2013年 3月

第2期終了

2013年 4月

第3期開始
新たに38疾患を対象に
全国12医療機関52病院と
ともにDNAと臨床情報の
収集を開始

2011年 7月

データベース更新のため
第1コホートの
ご登録者の第1回
追跡調査を実施

2018年 3月

第3期終了および第1・2コホートともに
同意撤回受付の終了

バイオバンク・ジャパンの完成
DNA・血清、
生活習慣やカルテなどの
情報の利用は継続へ

病気の発症、くすりの効きやすさ・副作用に関連する遺伝要因を解明し、ひとりひとりに合った医療の実現をめざして、“オーダーメイド医療の実現プログラム”は、全国12協力医療機関とともに歩んできました。

2003年4月に文部科学省の委託事業として開始した、“オーダーメイド医療実現化プロジェクト(第1期・第2期)”では、47種類の病気の方を対象に研究が行われました。当院の患者さんをはじめ、全国で約20万人のご協力をいただきました。

2013年4月に“オーダーメイド医療の実現プログラム(第3期)”が開始し、2015年からは、日本医療研究開発機構の委託事業として、38種類の病気の方を対象に全国から約6万人のご協力をいただきました。

みなさんの期待に
こたえられるように
今後も研究を
続けていきます

バイオバンク・ジャパンでは、ご提供いただきましたDNA・血清、生活習慣やカルテなどの情報を引き続き研究のために利用いたします。関連指針を遵守し、個人情報厳重に管理した上で大切に使用させていただきます。

DNA・血清や情報の一部は、厳正な審査によって認められた国内外の研究機関や企業に提供します。また、今後の医学・生命科学研究の発展のために、厳重なセキュリティで管理された国内外のデータベースへの登録も行います。個人のゲノムデータと生活習慣やカルテなどの情報は、ID番号を付与してデータベースへ登録し、一定の条件のもとでの公開を予定しています。



これまでの研究成果



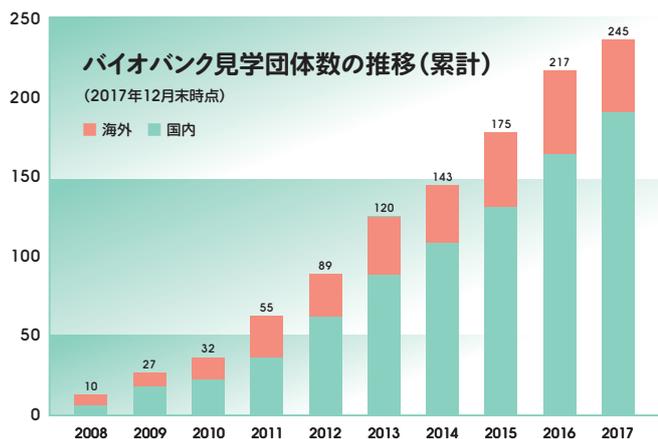
バイオバンク・ジャパン (BBJ) に関連した研究論文が国際的な科学雑誌に2017年12月末現在で、385本掲載されました(左の棒グラフ)。下の表は2017年12月末までに、BBJの試料や臨床情報を用いて研究し、発表された論文を分類したものです。疾患や薬剤に関連する遺伝子の他にも、身体的特徴やバイオマーカーに関する遺伝子の発見がされています。その他には、BBJ登録者全体の特性に関する報告もされています。こうした研究成果は、世界中の研究者に共有・活用され、ゲノム医療の実現へとつながることが期待されています。

ご提供いただいたサンプル・臨床情報を利用して発表した論文【疾患別】

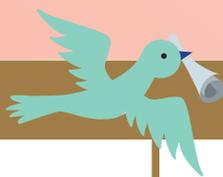
疾患分類	疾患名	論文数
神経・精神疾患	アルツハイマー病、気分障害、筋萎縮性側索硬化症 (ALS)、双極性障害、パーキンソン病	11
眼科・耳鼻科疾患	アレルギー性鼻炎、加齢黄斑変性症、緑内障	5
内分泌代謝疾患	脂質異常症、痛風・高尿酸血症、糖尿病、パセドウ病	17
心疾患・脳血管疾患	アテローム血栓性脳卒中、冠動脈心疾患、胸部大動脈瘤、虚血性脳卒中、心筋梗塞、心血管疾患、心房細動、川崎病、頭蓋内動脈瘤、脳梗塞、腹部大動脈瘤、末梢動脈疾患 (PAD)	25
腫瘍性疾患	胃がん、肝がん、食道がん、膵臓がん、前立腺がん、大腸がん、胆嚢がん、乳がん、肺がん、びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫、膀胱がん	47
消化器疾患	B 型肝炎、C 型肝炎、胃潰瘍、炎症性腸疾患、潰瘍性大腸炎、肝障害、クローン病、自己免疫性肝炎、十二指腸潰瘍	19
呼吸器疾患	結核、喘息、特発性肺線維症	5
腎・尿路系疾患	腎機能、腎結石、ネフローゼ症候群	4
婦人科系疾患	子宮筋腫、子宮内膜症	5
骨・結合組織疾患	関節リウマチ、後縦靭帯骨化症、骨粗鬆症、全身性エリテマトーデス、全身性硬化症、特発性側弯症、特発性大腿骨頭壊死症、変形性膝関節症、腰椎椎間板変性症	33
皮膚疾患	アトピー性皮膚炎、ケロイド	6
歯科・口腔疾患	歯周炎	1
薬剤関連	副作用、薬剤応答性、薬剤性過敏症症候群 (薬疹)	13
その他	BBJ 登録者全体の特性、身体的特徴、統計等の研究方法、バイオマーカー・検査値	51

世界各国からの見学を受け入れてきました

BBJには、日本のみならず世界各国(約22カ国)から、政府関係者、研究・教育機関、民間企業、患者団体、学生など幅広い背景をもつ方たちが見学にいらっしゃいました。



- 1.アメリカ 2.メキシコ 3.イギリス 4.スウェーデン 5.オランダ 6.ドイツ 7.フランス 8.スペイン
9.リトアニア 10.スロベニア 11.イスラエル 12.ガーナ 13.エチオピア 14.シンパフェ 15.韓国
16.中国 17.台湾 18.タイ 19.ベトナム 20.マレーシア 21.シンガポール 22.オーストラリア



ようこそ、バイオバンク・ジャパンへ

「ミニ版」も
どうぞ
ご覧ください

最新ニュースをお届け!

NEWS

オーダーメイド
医療の
実現プログラム
Webはコチラ!



<https://biobankjp.org/>

BIOBANK NEWS

国際標準化機構 (ISO) が定める国際規格の認証を取得しました

オーダーメイド医療実現化プロジェクト事務局は、2017年10月30日付で、国際標準化機構 (ISO) の定める2つの国際規格、ISO9001:2015 (品質)、ISO/IEC27001:2013 (情報セキュリティ) マネジメントシステムの認証を取得しました。これは、生体試料及び臨床情報の収集・保管及び提供に関し、品質管理・情報セキュリティの向上を目指す取り組みのひとつです。

登録番号: JUSE-RA-2104
組織名: 東京大学医学研究所
適用規格: JIS Q 9001:2015 (ISO 9001:2015)
初回登録日: 2017年10月30日
有効期間: 2017年10月30日~2020年10月29日

責任者は、日科技連ISO審査登録センター品質マネジメントシステム審査登録制度による厳正なる審査の結果、別紙審査登録適合内容に記載する範囲において、上記規格要求事項に適合していることを証し、登録いたします。

発行日 2017年10月30日

一般財団法人 日本科学技術連盟
理事長 佐々木 真一
ISO審査登録センター
担当理事・上級経営管理者 小野寺 将人

住所: 東京都新宿区西新宿2-7-1 (〒163-0704)
登録証は「登録証」と「審査登録適合内容」とで構成される。

ISO9001:2015の認証登録証

登録番号: JUSE-IR-398
組織名: 東京大学医学研究所
適用規格: JIS Q 27001:2014 (ISO/IEC 27001:2013)
初回登録日: 2017年10月30日
有効期間: 2017年10月30日~2020年10月29日

責任者は、日科技連ISO審査登録センター情報セキュリティマネジメントシステム審査登録制度による厳正なる審査の結果、別紙審査登録適合内容に記載する範囲において、上記規格要求事項に適合していることを証し、登録いたします。

発行日 2017年10月30日

一般財団法人 日本科学技術連盟
理事長 佐々木 真一
ISO審査登録センター
担当理事・上級経営管理者 小野寺 将人

住所: 東京都新宿区西新宿2-7-1 (〒163-0704)
登録証は「登録証」と「審査登録適合内容」とで構成される。

ISO/IEC27001:2013の認証登録証

大事な
お知らせ

同意撤回の受付について

バイオバンク通信第19号でもお知らせしましたとおり、2018年3月末をもちまして、同意撤回の受付を終了させていただきます。今後もオーダーメイド医療の実現にむけた研究は推進されるため、試料・情報などは引き続き利用させていただきます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

2018年
4月以降の
お問い合わせ先

今後のお知らせについては、
バイオバンク・ジャパンの
ホームページに掲載します。

<https://biobankjp.org/>



編集後記

患者さんとながりたい一心で、ピラのような「バイオバンク通信」第1号を一人で作り、恐る恐る発行したのは2007年8月のこと。あれから10年、記念すべき第20号の発行まで漕ぎ着けました。研究者の皆様がいつも快く情報提供に応じて下さり、事務局の皆様が発行予算を死守して下さいのおかげです。デザインでは(株)東京ヒュッテの塩田浩章さんに、印刷では瑞穂印刷(株)の菅野義雄さんに様々なながまを聞いて頂きました。企画から発行まで全力を傾けてくれたのは、洪賢秀(ほん・ひょうすう)さんと神原容子さんです。明快な成果を求める読者、折々に訪れる予算の危機、順調に進む老眼など、紙面作りは簡単ではありませんでしたが、二人を中心とした編集人仲間のおかげで、一つの区切りを迎えられました。全号、ホームページにも出ております。並べてご鑑賞頂き、バイオバンク・ジャパンの歴史に思いを馳せて頂けたら幸いです。(武藤香織)



バイオバンク通信 Vol.20

オーダーメイド医療実現化プロジェクト事務局
〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1
東京大学医学研究所内
電話・ファックス (03) 5449-5122

編集人: 井上悠輔・神原容子・永井亜貴子
洪賢秀・武藤香織

(東京大学医学研究所公共政策研究分野)
デザイン: 株式会社東京ヒュッテ
印刷: 瑞穂印刷株式会社
発行日: 2018年1月